

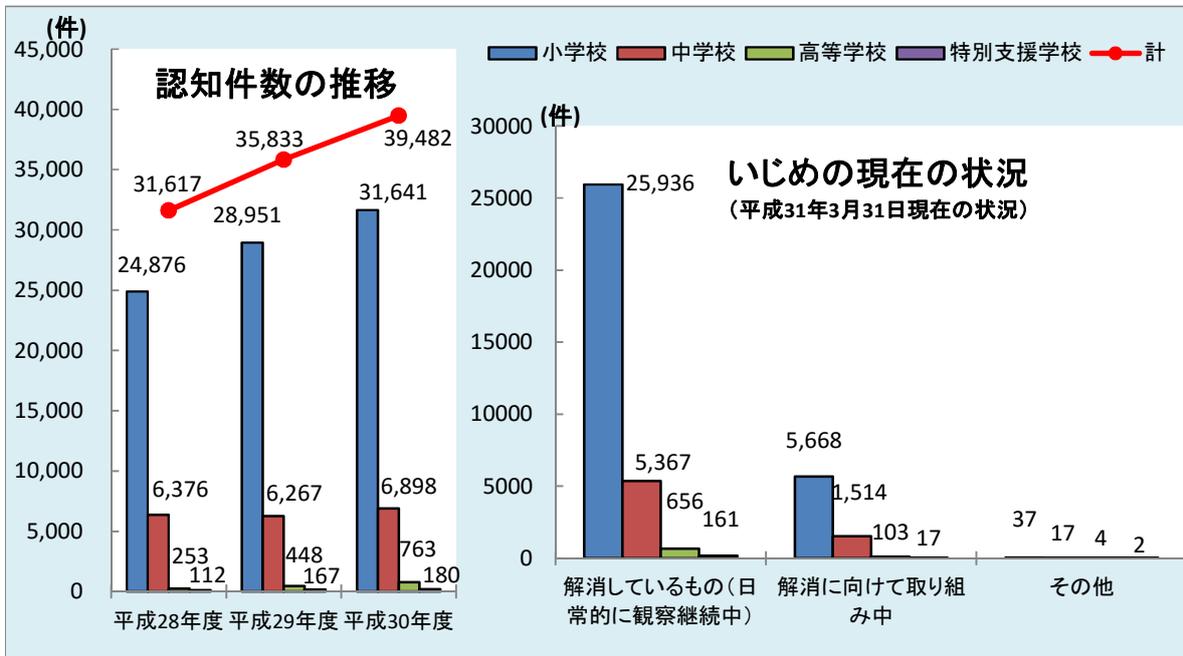
資料1

平成30年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

1 いじめの認知状況等

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合(%)		認知件数	増減【%】	一校平均 件数
			校数	割合(%)			
小学校	平成28年度	806	682	84.6%	24,876	2,339【10.4%】	30.9
	平成29年度	796	724	91.0%	28,951	4,075【16.4%】	36.4
	平成30年度	794	745	93.8%	31,641	2,690【9.3%】	39.9
中学校	平成28年度	381	348	91.3%	6,376	△123【△1.9%】	16.7
	平成29年度	379	352	92.9%	6,267	△109【△1.7%】	16.5
	平成30年度	379	362	95.5%	6,898	631【10.1%】	18.2
高等学校	平成28年度	146	70	47.9%	253	40【18.8%】	1.7
	平成29年度	146	113	77.4%	448	195【77.1%】	3.1
	平成30年度	146	129	88.4%	763	315【70.3%】	5.2
特別 校支 援	平成28年度	42	17	40.5%	112	△15【△11.8%】	2.7
	平成29年度	43	19	44.2%	167	55【49.1%】	3.9
	平成30年度	43	22	51.2%	180	13【7.8%】	4.2
計	平成28年度	1,375	1,117	81.2%	31,617	2,241【7.6%】	23.0
	平成29年度	1,364	1,208	88.6%	35,833	4,216【13.3%】	26.3
	平成30年度	1,362	1,258	92.4%	39,482	3,649【10.2%】	29.0

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制128校、定時制17校、通信制1校の合計である。



※いじめの定義(平成25年度一部改訂)

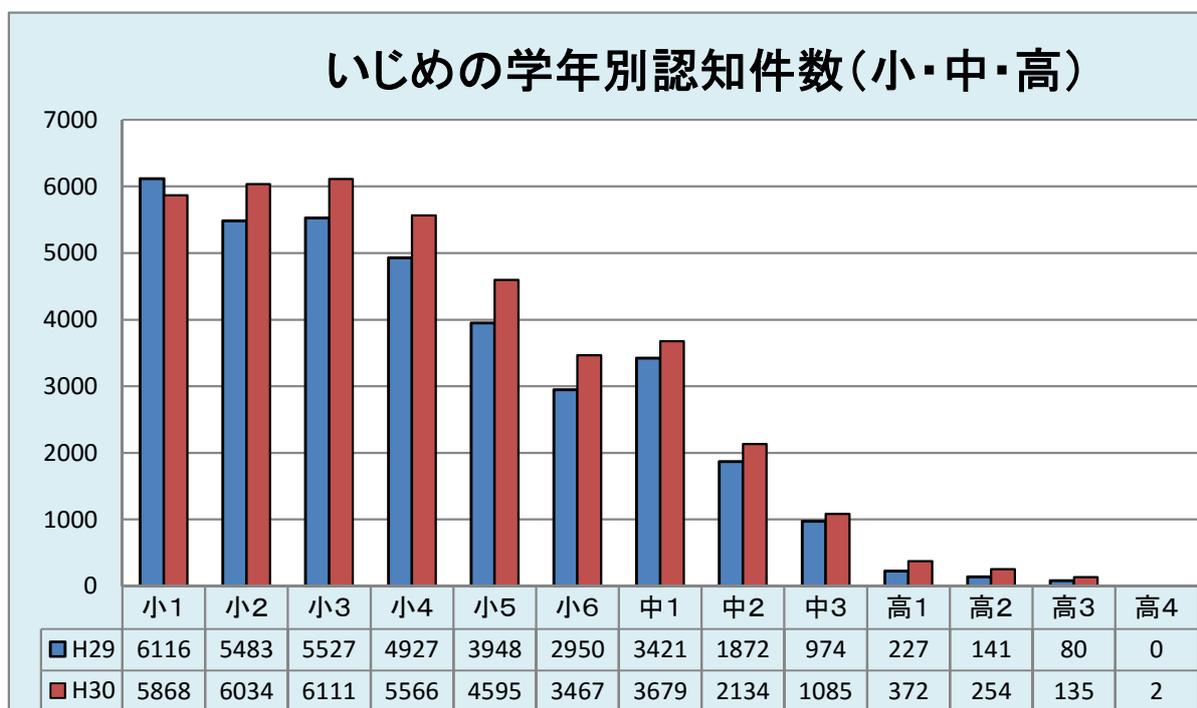
本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

2 いじめの認知件数の学年別, 男女別内訳

(単位: 件)

区分		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
小学校	男子	3,329	3,276	3,356	3,066	2,597	2,036	17,660	
	女子	2,539	2,758	2,755	2,500	1,998	1,431	13,981	
	小計	5,868	6,034	6,111	5,566	4,595	3,467	31,641	
中学校	男子	2,124	1,191	561	—	—	—	3,876	
	女子	1,555	943	524	—	—	—	3,022	
	小計	3,679	2,134	1,085	—	—	—	6,898	
高等学校	男子	192	136	79	1	—	—	408	
	女子	180	118	56	1	—	—	355	
	小計	372	254	135	2	—	—	763	
特別支援学校	小学部	男子	3	4	6	6	3	10	32
		女子	1	6	2	1	3	3	16
		小計	4	10	8	7	6	13	48
	中学部	男子	7	2	3	—	—	—	12
		女子	4	2	4	—	—	—	10
		小計	11	4	7	—	—	—	22
	高等部	男子	25	31	22	—	—	—	78
		女子	16	10	6	—	—	—	32
		小計	41	41	28	—	—	—	110
特別支援学校計		56	55	43	7	6	13	180	
合計		9,975	8,477	7,374	5,575	4,601	3,480	39,482	

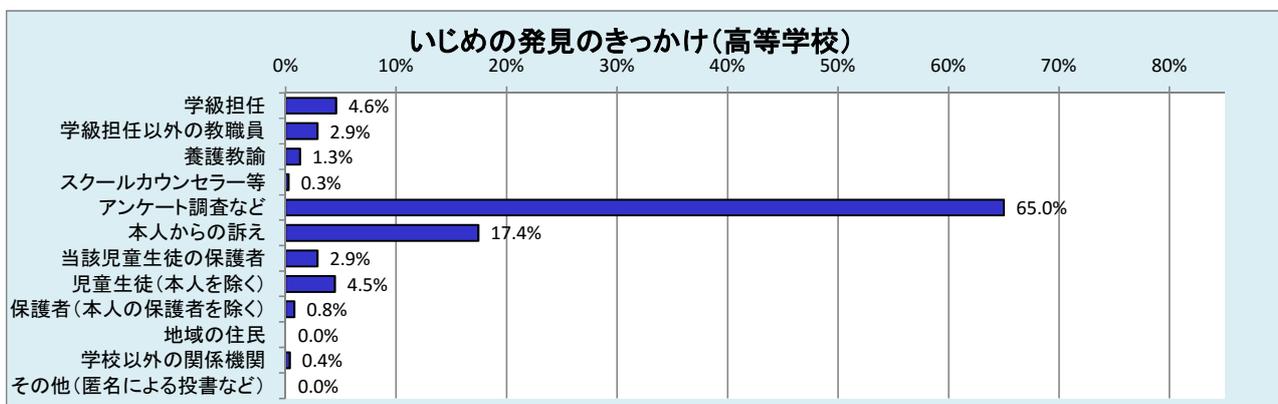
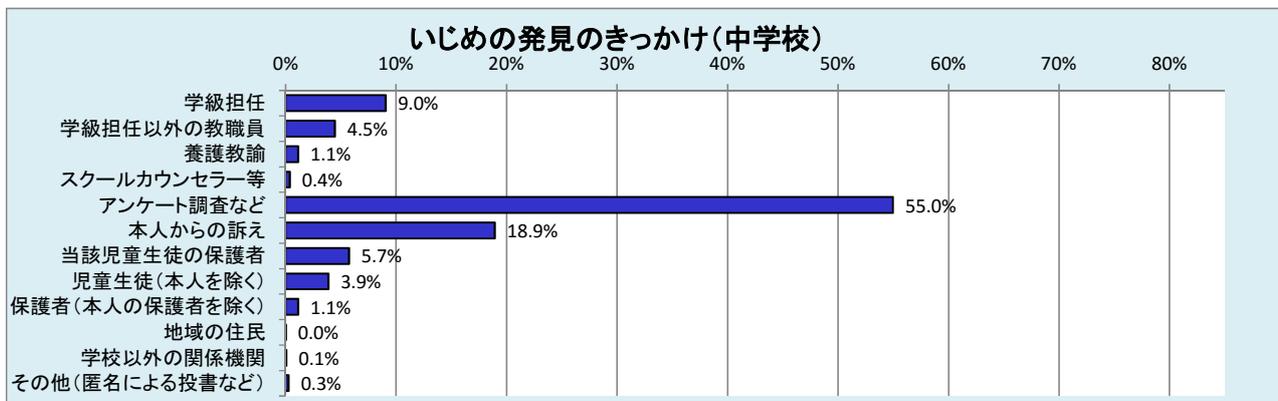
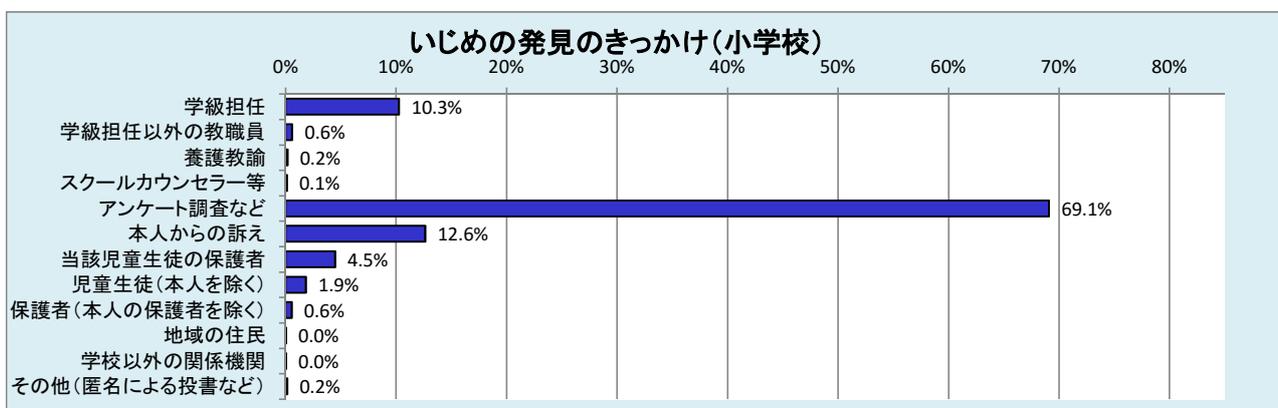


(注)調査では、単位制の高等学校の1年次生は「高1」、2年次生は「高2」、3年次生は「高3」、4年次生以上は「高4」としてそれぞれ計上している。

3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区 分		小 学 校	中 学 校	高等学校	特別支援学校	計
学校の教職員等が発見		25,391	4,828	565	168	30,952
内 訳	学級担任	3,248	624	35	7	3,914
	学級担任以外の教職員	190	307	22	0	519
	養護教諭	56	78	10	0	144
	スクールカウンセラー等	35	27	2	0	64
	アンケート調査など	21,862	3,792	496	161	26,311
学校の教職員以外からの情報により発見		6,250	2,070	198	12	8,530
内 訳	本人からの訴え	3,997	1,305	133	7	5,442
	当該児童生徒の保護者	1,416	396	22	4	1,838
	児童生徒(本人を除く)	586	267	34	0	887
	保護者(本人の保護者を除く)	176	78	6	1	261
	地域の住民	12	1	0	0	13
	学校以外の関係機関	14	4	3	0	21
	その他(匿名による投書など)	49	19	0	0	68
計		31,641	6,898	763	180	39,482



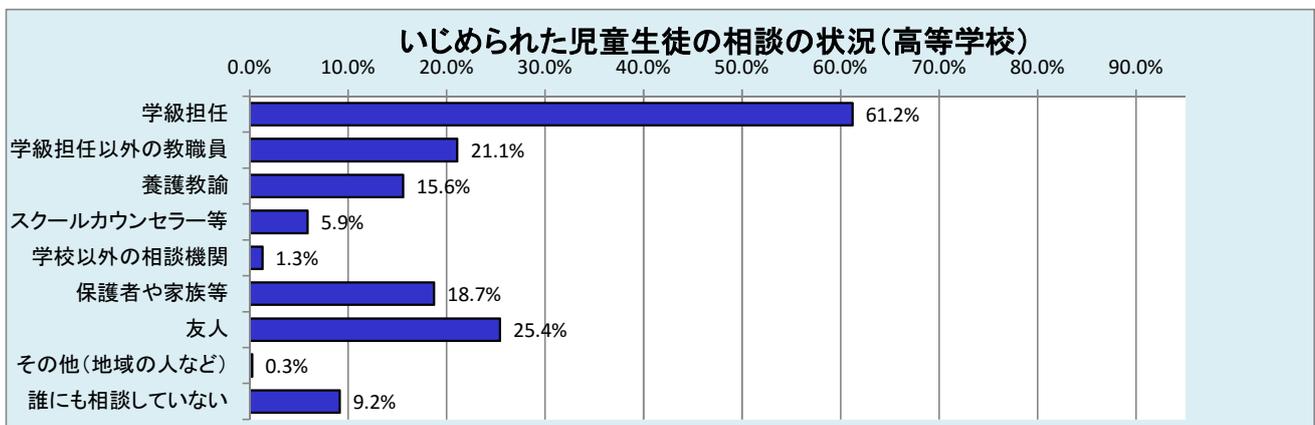
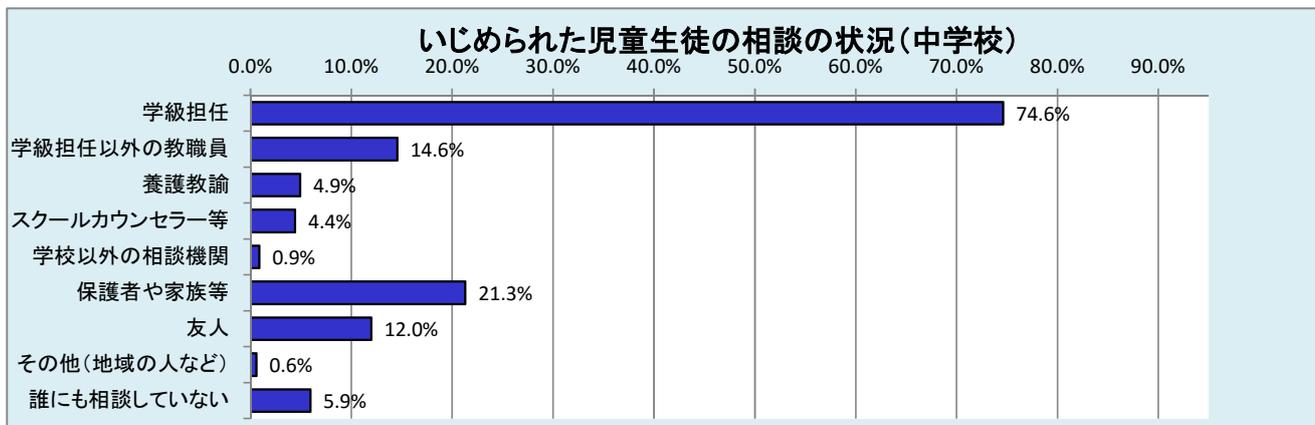
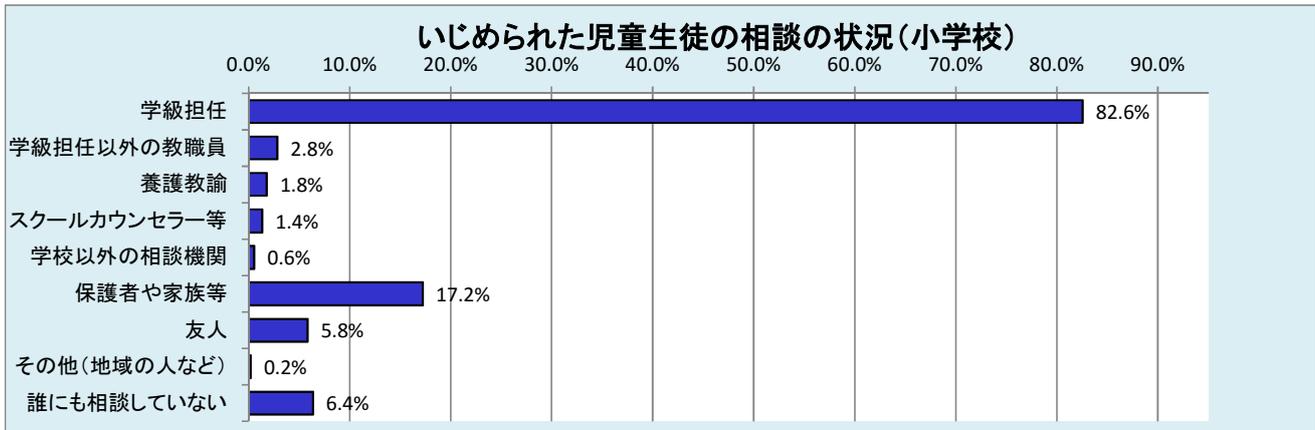
※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。
(認知件数: 小学校31,641件、中学校6,898件、高等学校763件)

4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	26,125	5,147	467	171	31,910
学級担任以外の教職員	899	1,004	161	14	2,078
養護教諭	567	340	119	8	1,034
スクールカウンセラー等	430	306	45	0	781
学校以外の相談機関	175	60	10	0	245
保護者や家族等	5,451	1,469	143	15	7,078
友人	1,846	826	194	7	2,873
その他(地域の人など)	62	40	2	0	104
誰にも相談していない	2,015	410	70	3	2,498
計	37,570	9,602	1,211	218	48,601

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

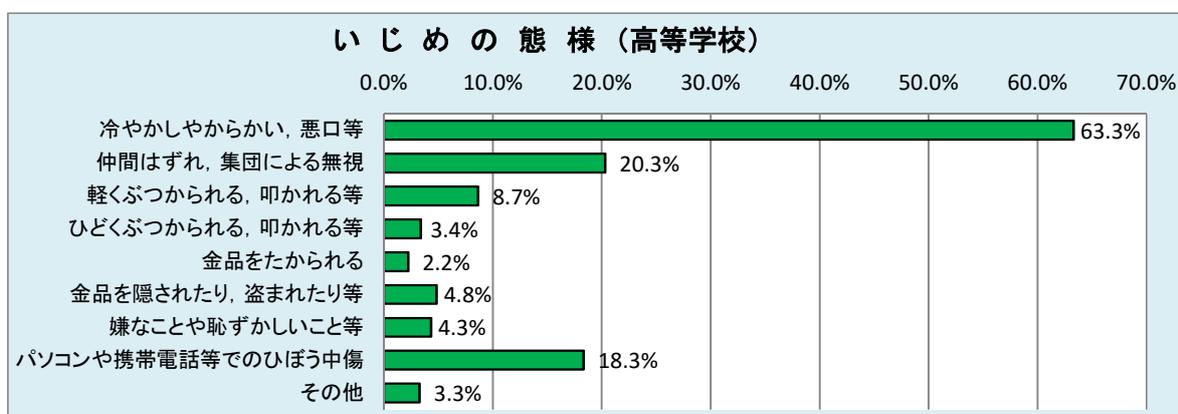
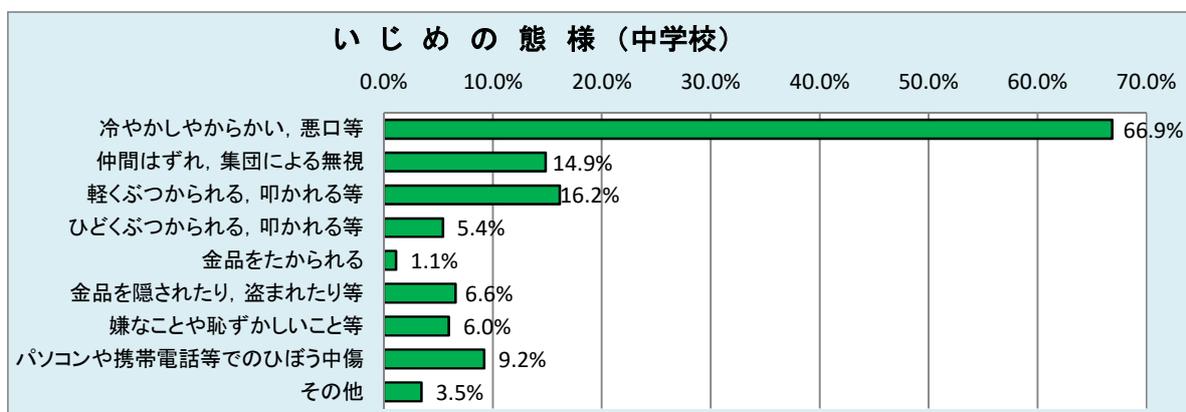
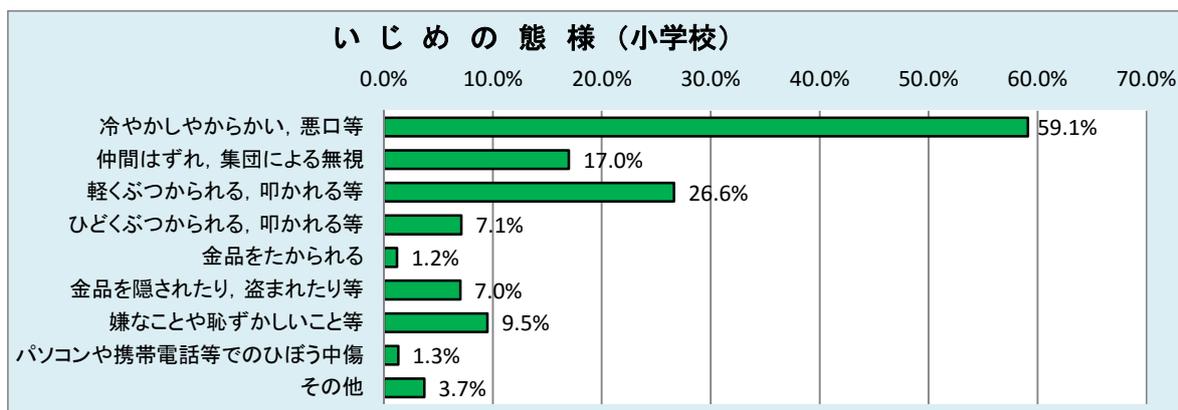
(認知件数:小学校31,641件、中学校6,898件、高等学校763件)

5 いじめの態様

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい, 悪口等	18,706	4,612	483	115	23,916
仲間はずれ, 集団による無視	5,373	1,025	155	10	6,563
軽くぶつかられる, 叩かれる等	8,431	1,115	66	60	9,672
ひどくぶつかられる, 叩かれる等	2,253	374	26	0	2,653
金品をたかられる	381	78	17	7	483
金品を隠されたり, 盗まれたりする等	2,220	454	37	4	2,715
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	3,007	411	33	8	3,459
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷	416	636	140	5	1,197
その他	1,173	239	25	17	1,454
計	41,960	8,944	982	226	52,112

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

(認知件数: 小学校31,641件、中学校6,898件、高等学校763件)